

**不撓不屈** ふうとうふくつ

環境浄化研究所は放射線技術を用いた機能性素材を開発している。福島第一原子力発電所の除染材料をはじめ、多種多様な製品を世に生み出した。手がける素材の効果に大企業も注目し、相談依頼が舞い込むほどで、国内外の企業から熱視線を注がれている。

社長の須郷高信は日本原子力研究所(現日本原子力研究開発機構)出身

**環境浄化研究所** ①

「何でもできるのがV Bの良さ。社長の判断で系がV Bという考えだ。須郷はいう。「会社を会社を方向転換でき、その時代のニーズをすくに大きくすることよりも、

「何でもできるのがV Bの良さ。社長の判断で系がV Bという考えだ。須郷はいう。「会社を会社を方向転換でき、その時代のニーズをすくに大きくすることよりも、



創業して数年は苦労した…と須郷社長

「高度経済成長を支え

**困りごとと解決 使命に気づく**

須郷は当初、この依頼を断った。定年まであと3年であり、企業からの誘いもきていた。しかたある言葉が人生を大きく変えることになる。「今やれる人は君しかない」。須郷の胸中に

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め

**不撓不屈** ふうとうふくつ

「商売とは魅力的なものをつくることだと経験した。売ろうというよりも、欲しいというものをつくれたいんだということになり、着いた」。環境浄化研究所(群馬県高崎市)社長の須郷高信は自身の商売観をこう語る。

国の研究機関発のベンチャー企業として産声を上げたものの、鳴かず飛ば

**環境浄化研究所** ②

研究者からの転機

「売れないのは私の研究自体がまずいから。魅力を持ったものだったら、こちらが売らなくても向こうから欲しいとやってくる」。目先の黒字にこだわらないのは、利用者が喜んでもらえるものを提供する結果は、商売の心得が強い。



生活用品に進出し、多種多様な商品を展開

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め

**病院向け好評、商品群拡充**

研究者からの転機

「売れないのは私の研究自体がまずいから。魅力を持ったものだったら、こちらが売らなくても向こうから欲しいとやってくる」。目先の黒字にこだわらないのは、利用者が喜んでもらえるものを提供する結果は、商売の心得が強い。



生活用品に進出し、多種多様な商品を展開

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め

**不撓不屈** ふうとうふくつ

全従業員を結集

2011年3月11日に発生した東日本大震災。福島原子力発電所の事故の影響は、日を追うごとに深刻さを増し、国民の一大関心事となった。直面した問題の一つが汚染水処理。世界を代表する海外の原発大手が名乗りを上げ、事の収束にあたり、この状況を見つめていた環境浄化研究所(群馬県高崎市)社長の

**環境浄化研究所** ③

汚染水処理研究に集中

須郷高信は、一つの使命感に燃えていた。「日本人の誇りに賭け心は変わらない。震災発生から半年もたないうちに、全従業員を動員し、



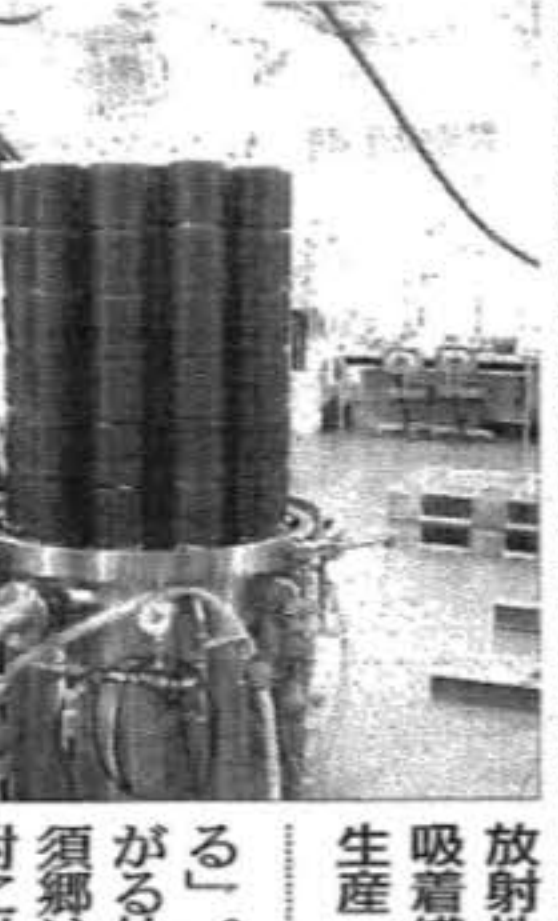
放射性物質を吸着する素材を完成。一気に事業を拡大させた。

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め

**選択的吸着素材主力へ成長**

研究者からの転機

「売れないのは私の研究自体がまずいから。魅力を持ったものだったら、こちらが売らなくても向こうから欲しいとやってくる」。目先の黒字にこだわらないのは、利用者が喜んでもらえるものを提供する結果は、商売の心得が強い。



放射性物質を吸着する素材を完成。一気に事業を拡大させた。

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め

**不撓不屈** ふうとうふくつ

環境浄化研究所(群馬県高崎市)の社長室からはJR高崎駅(同)の新幹線ホームが見える。「群馬発世界。日本の技術で世界に打って出る」。2014年、地元の金融機関が主催する事業プランコンペの最優秀賞に選ばれた際、社長の須郷高信はこう力を込めた。創業期の苦難を乗り越え、生活用品分野に進出

**環境浄化研究所** ④

終わりになき研究者人生

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め



放射性物質を吸着する素材を完成。一気に事業を拡大させた。

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め

**ニーズ追いかけて世界に挑む**

研究者からの転機

「売れないのは私の研究自体がまずいから。魅力を持ったものだったら、こちらが売らなくても向こうから欲しいとやってくる」。目先の黒字にこだわらないのは、利用者が喜んでもらえるものを提供する結果は、商売の心得が強い。



放射性物質を吸着する素材を完成。一気に事業を拡大させた。

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。今はその時期で、鬼瓦に決意込め